


STEP 2 答え合わせ 5分

Track 04 をもう一度聞き、下線部を参照して答え合わせをしましょう。訳も参照してください。丸数字の箇所は [今月のルール] で解説します。

Jonathan Jarvis (director, National Park Service): I like to say the ^①National Park Service is the ^②only federal agency with the responsibility to ensure the public actually has fun. Um, so we have a lot of places that are there for the enjoyment of the American ^③people and visitors from around the ^④world. ^⑤But also, we want you to learn something, to take something away, whether it's to learn about nature or plate tectonics or climate change, ^⑥but also about history. [01] [05]

訳 ジョナサン・ジャーヴィス (国立公園局長)：国立公園局は、一般の方々に実際に楽しんでいただくという責任を負った、唯一の国家機関であるということをお伝えしたいと思います。ええ、ですから、私たちのところには、アメリカの人たちや、世界中から訪れた人たちに娯楽を提供する場所がたくさんあります。ただそれと同時に、私たちは皆さんに何かを学んでほしい、何かを得て帰ってほしいとも思っています、それが自然やプレートテクトニクスや気候変動、あるいは歴史について学ぶことであっても。

[今月のルール] [I] の発音
[応用編]
語末の [I] が、続く語の母音と連結することも

①は、National の語末の [I] が Dark L で、「ナーションノウ」のように聞こえる。②の federal も [I] で終わるため、1 語の場合は「フェデロウ」のように発音される。ただ、ここでは後に agency の母音 [ei] が続くため、federal の語末の [I] が agency の [ei] と連結し、「フェデロウ レイジェンスイー」のように聞こえることを確認しよう。

③の people は「ピーポウ」。④の world、⑤、⑥に含まれる also はいずれも [I] の後に子音 ([d], [s]) が続く。これらの [I] は Dark L で、それぞれ「ワード」「オーウソウ」のように聞こえる。

上記以外の下線部には、Light L の発音が含まれている。基本編と同様、Dark L との違いを意識しながら聞いてみよう。


● EJ で聞こう!

このコーナーで耳慣らしをした後、EJ の「Mystery Speakers」に挑戦し、余裕がある方は、ディクテーションをするのもよいでしょう。毎月、1 つずつ音声現象を学んでいけば、「Tea Time Talk」も、徐々に聞き取りが易くなるはずですよ。また、[今月のルール] がどこに現れるか、スクリプトに印を付け、自分でも発音してみましよう。

● オンライン英会話を使ってみよう!

基本編・応用編を全て学習し終えたら、「アルク オンライン英会話」(詳細は p. 082) で、[今月のルール] に沿って自分でも発音できるかどうか、応用編の英文を使って練習してみましよう。